

タイトル

海洋生物の摂餌行動のモニタリング技術の開発

Development of monitoring technique for feeding behavior of marine animals

概要

近年、地球規模での自然環境の悪化が進み、脆弱な生物の絶滅が深刻化している。希少生物種の行動・生態解明は喫緊の課題である。水圏に棲息する生物は、直接目で観察することが難しい。このため、行動計測技術を開発し、適用する必要がある。本研究では、ウミガメをモデルとして、海洋生物の摂餌行動をモニタリングする技術の開発を目指した。



図 行動計測装置を装着したウミガメ

URL

産業界への展開例・適用分野

本技術に位置情報を取得できる深度・GPSセンサー等を併用すれば、海洋環境において生物がどこで、いつ、どのように振舞っていたかを時空間スケールで定量的に明らかにできる。これは、海洋環境アセスメント技術や海洋環境評価の指標になる。また、生物の行動を加速度から推定する解析技術は、従来のヒューマンセンシング技術へフィードバックできる可能性を秘めている。

研究者

| | 氏名 | 専攻 | 研究室 | 役職(学年) |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 展示担当者 | 奥山 隼一 | 社会情報学 | 守屋研究室 | 助教 |
| | 神畑 浩子 | 社会情報学 | 守屋研究室 | 修士1年 |
| | | | | |